

災害に備える準備

災害発生時は慌ててしまって何もできない! という方も。子どもと一緒にならなさらずです。「うちは大丈夫」と過信せず、日頃から備えておきましょう。

ハザードマップ 自治体のものをDL・印刷しておく

ハザードマップとは、被害予測地図のこと。
住んでいる地域のハザードマップは、PDFデータで入手できます。
災害時、自治体のホームページは **アクセスが集中して繋がらない場合** があります。
ダウンロード、または印刷 をしておきましょう。
ただし、すべての市町村が最新情報が反映されているわけではないので過信に注意。



災害時要援護者情報登録制度 に登録

乳幼児や障がいのある方、難病の方など、**避難するときに誰か手助けが必要な方**のところへ**近所の誰か助けに来てくれるか決めておける仕組み**です。
●自己申告制で、役所窓口で用紙を提出。
●申請書に書く内容は、氏名/性別/生年月日/住所/町内会など



母子手帳のコピー・写真を撮っておく

母子手帳は避難時に持ち出せればベストですが緊急時にはできない場合も多々あります。
●出産の状態 ●乳児身体発育曲線 ●予防接種の記録
の3項目を **コピーまたは写真に撮っておく** といざという時便利です。
てんかんなどの**慢性疾患がある場合はお薬手帳も**コピーか写真を。



地域の避難所/避難場所 の情報を確認

住んでいる場所・よく行く場所の避難所はどこか、確認しておきましょう。



防災Check!

- ハザードマップの印刷・DL
- 災害時要援護者情報登録制度に登録
- 母子手帳のコピーまたは写真を撮る
- 地域の避難所/避難場所の情報を確認

安否確認の方法を確認

安否確認の方法を決めておく

家族、親戚、友人、学校医療機関との連絡手段は非常に大切です。
安否確認の方法を複数 作っておきましょう。
災害時にはスマホや携帯が使えなくなる可能性があるため、**災害別の待ち合わせ場所と待ち合わせ時間も決めておく** といいでしょ。
また、施設の方が安全な場所であれば、その場にとどまる方が安全な場合もありますので、有事の際の送迎については事前に園や学校と話し合っておくことも大切です。



災害時の情報収集 有用な情報源をチェック

被害の概要	局地的な情報	有用な情報源
<ul style="list-style-type: none"> ●新聞 ●ラジオ ●テレビの情報 	<ul style="list-style-type: none"> ●SNS 通れない道路、開いているコンビニなどの局地的な情報収集には自治体のSNS (都道府県・市町村) が便利。 #をつけて情報の整理も。 ●防災無線 防災無線が各戸に配置されている地域は最大限活用を。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国土交通省 [川の防災情報] ●気象庁 [危険度分布] ●Yahoo! [河川水位情報] ●国土交通省 [重ねるハザードマップ] ●東京都 [マイタイムライン]

いざという時にあわてないために災害時の自分の行動をあらかじめ具体的に決めておく

地震情報と洪水情報を一度でチェックできます

避難のタイミングを知る

状況が急変することもあり警戒レベルは1から順番で発表されるとは限らないので、自分の避難のタイミングを決めておこう (マイタイムライン)

重要

危険な場所から避難に時間を要する人は避難
高齢者や子育て世帯

危険な場所から**全員避難**

警戒レベル1 (気象庁が発表)

警戒レベル2 (気象庁が発表)

警戒レベル3 (市町村が発令)

警戒レベル4 (市町村が発令)

情報収集 ●避難袋確認 ●ハザードマップ確認 ●充電確認

レベル3になった時の行動を共有 ●避難経路・場所確認

子どもにも伝える

レベル3になったら〇〇するよ

心構えを高める

避難行動の確認

子連れは避難!

作成協力: アウトドア防災ガイド あんどりりず